



みんなで  
たい せつ  
大切にしたい

あたりまえの

すいどう

じゃぐちをひねるといつでもきれいな水<sup>みず</sup>がでる…

そんな「あたりまえ」のことは  
おお どりよく  
多くのひとたちの努力によってうまれ、  
いま まも  
今も守られつづけているのです。

こうべしすいどうきょく  
\*神戸市水道局

お風呂に入るとき、のどがかわいたとき…  
毎日あたりまえに水道を使いますよね。

## でも、昔は水道がありませんでした。

ではどんな風にして水を取っていたのでしょうか？  
昔は地下にある水を「井戸」からくみあげていました。



水は重たくて、  
井戸からくみあげた  
水を運ぶのは大仕事。  
また井戸水は今と比べ

きれいな水ではないこともあり、  
コレラという病気でたくさんの人が  
亡くなってしまったのです。

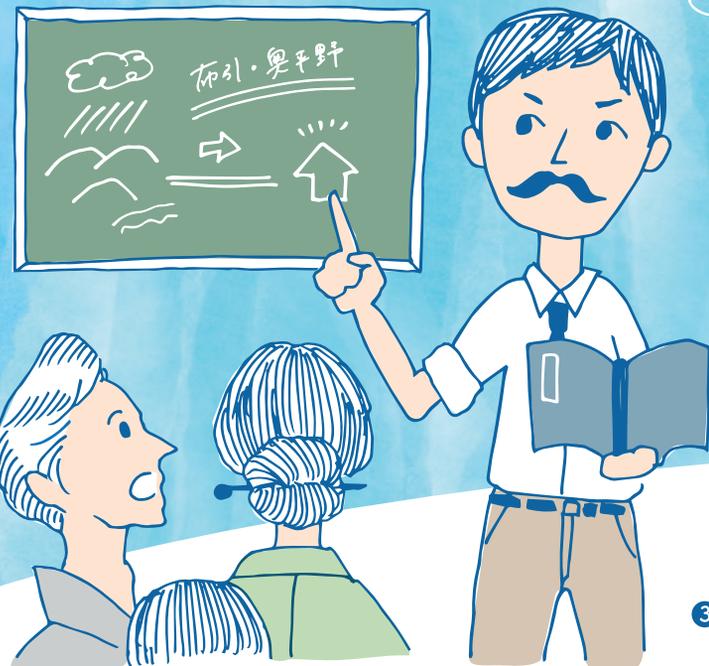
そして「水道」をつくる計画がはじまりました。

水道をつくるには、  
とてもたくさんのお金がかかり、反対もありました。  
それでも水道が必要だとうったえ、  
水道づくりに力をつくす人があらわれました。

そして1900年…

## ようやく神戸にはじめての

## 水道ができました！



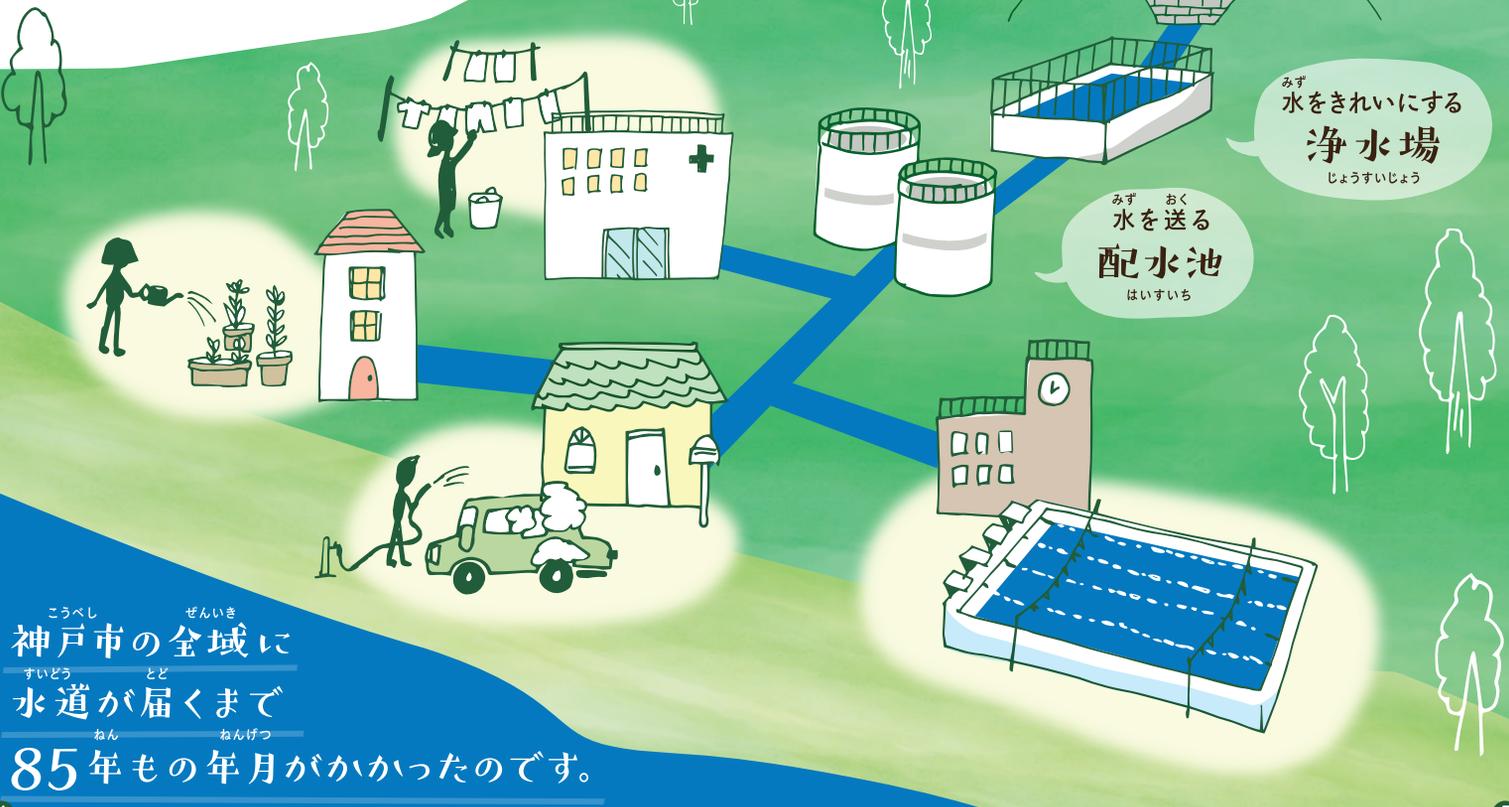
しかし、<sup>すいどう</sup>できあがった水道だけでは  
<sup>つか</sup>みんなが使えるほどの<sup>きぼ</sup>規模ではありませんでした。  
<sup>なんじゅうねん</sup>そこで、何十年もかけて<sup>おお</sup>大きな<sup>きぼ</sup>規模の<sup>しせつ</sup>施設を<sup>つく</sup>作っていました。  
<sup>ねん</sup>そして1985年<sup>こうべ</sup>によく<sup>しみん</sup>神戸市民の<sup>ぜんいん</sup>全員が  
<sup>すいどう</sup>水道<sup>つか</sup>を使えるようになりました。



<sup>みず</sup>水をためる  
**貯水池**  
<sup>ちよすいち</sup>

<sup>みず</sup>水をきれいにする  
**浄水場**  
<sup>じょうすいじょう</sup>

<sup>みず</sup>水を<sup>おく</sup>送る  
**配水池**  
<sup>はいすいち</sup>



<sup>こうべし</sup>神戸市の<sup>ぜんいき</sup>全域に  
<sup>すいどう</sup>水道<sup>とど</sup>が届くまで  
<sup>ねん</sup>85年<sup>ねんげつ</sup>も年月がかかったのです。

しかし1995年、  
神戸に阪神・淡路大震災が起きました。

とても大きな地震で、水道管や水道の

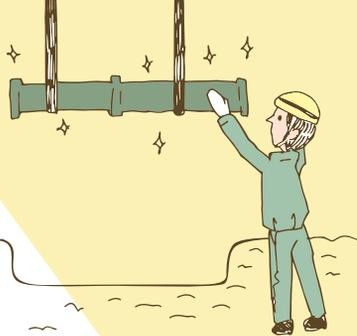
設備などはたくさんこわれて、

ようやく完成した水道が使えなくなって

しまったのです。長いところでは

約3か月間水道が使えない日々が続き、

たくさんの人が困ってしまいました。



地震でこわれた水道管や施設などを  
朝も夜も修理をして

水道はふたたび使えるようになりました!

それからは、みんなでまちを元の姿に戻しながら、  
災害のときに困らないように緊急時にも  
水を配れるような訓練などをしていきました。



いま すいどうきょく みず  
そして今も、水道局ではいつでもきれいな水が

つか まも  
「あたりまえ」に使える暮らしを守るため

ふる すいどうかん じしん つよ  
古くなった水道管を地震に強く

すいどうかん  
ぬげにくい水道管にとりかえたり、

じしん つよ はいすいち  
地震に強い配水池にかえていく

こうじ  
工事をしています。

これからもみんなの

あたりまえまもを守る

すいどう  
水道づくりは

つづいていくのです。



# 神戸の水道の歴史

このころは川や井戸と家のおおふくが毎日の仕事だったよ。地面はアスファルトじゃなくて土やじゃりで歩きにくかったんだ。



布引貯水池や奥平野浄水場が完成しはじめて水道ができたよ!

## ▶1900年ごろ~

水道を作るための工事を次々に始めたよ。烏原貯水池、上ヶ原浄水場、千苺貯水池なども作っていったんだ。



## ▶1985年

神戸市民のみんなが水道を使えるようになったよ!

## ▶1995年

阪神・淡路大震災という大きな地震が、起こって水道管がこわれたり、ぬけてしまって…たくさんの場所でも水が出なくなったんだ。



地震でこわれた水道管や施設を直して、さらに地震に強い水道管「大容量送水管」を作ってきたんだ。

「毎日安全な水がいつでも使える」

そんなあたりまえをこれからも守っていくことが大切なんだ。



むかし

## ▶1800年ごろ

## ▶2016年

大容量送水管が誕生したよ!

いま

メートル  
2.4m

こんにちは！

こうべ すいどう う  
ぼくは神戸の水道から生まれた

いってき  
一滴ちゃん。

なまえ  
きみの名前をおしえてね！

なまえ



ミストちゃん



いってき  
一滴ちゃん



まいにち みず  
きみは毎日、どんなときに水を  
つか か  
使っているかな？書きだしてみよう！



こうべ しない にち つか みず りょう  
神戸市内で1日に使われる水の量は、  
がっこう メートル やく ばい  
学校のプール(25m)で約2,000杯にも  
なるんだ。みんなが使うと、  
りょう ひつよう  
すごくたくさんの量が必要なんだね！

まいにちの すいどうすい  
みんなが毎日飲んでいる水道水は、  
こうもく いじょう けんさ すいしつ  
200項目以上の検査をして、水質をチェック  
しているの。だから安心して飲めるのよね。  
あんしん の



すいどう  
もし水道がなかったら？

いちばん  
きみにとって「これは一番こまるなあ」  
おも 　　なに 　　りゆう 　　かんが  
と思うことは何か？理由も考えてみてね。



すいどうすい おく 　　はいすいかん  
みんなに水道水を送るための配水管は  
しない どうろ した  
市内の道路の下にはりめぐらされているよ。  
こうべし 　　はいすいかん 　　なが 　　やく 　　キロメートル  
神戸市にある配水管の長さは、約4,800km  
にもなるんだ。全部つなげ合わせると、  
こうべし 　　きょり  
なんと「神戸市からシンガポールまでの距離」と  
おな 　　なが 　　ふる  
ほぼ同じなんだ！でも、こんなに長いと、古くなった  
と か 　　たいへん  
ものを取り替えていくのもとても大変だよね。

じしん お  
地震が起きたときでも

みず つか  
水が使えるようにきみならどんな

くふう じゆう かんが  
工夫をするかな？自由に考えてみよう！

ひと い さいていげんひつよう みず りょう  
人が生きていくために最低限必要な水の量は  
にち リットル こうべし すいどうきょく  
1日3ℓといわれているんだ。神戸市水道局は、  
さいがい そな しがいち ちか メートル ふか  
災害のときに備えて、市街地の地下50mの深さに  
はば メートル じしん つよ みず  
幅が2.4mもある地震に強くて、水もためておける  
すいどうかん だいやうりょう そうすいかん つく  
水道管「大容量送水管」を作ったんだ！  
こうべ しみん つか にちぶん みず  
これには、神戸市民みんなが使う12日分の水が  
ためておけるんだよ！

